

ごみに関する市民アンケート調査結果報告書

1. 調査の概要

1-1. 調査の目的

本調査は、花巻市の市民を対象としてアンケート調査を行うことにより、ごみの減量やリサイクルに対する意識と行動の状況、ごみ行政や廃棄物処理に関する意見や要望等について把握し、ごみ減量化を推進する上での基礎データを得ることを目的とします。

1-2. 調査の設計

アンケート	調査対象	調査対象者	調査方法	調査期間
市民	2,000 人	住民基本台帳から無作為に抽出	郵送配布 郵送回収	令和 6 年 11 月 1 日 ～11 月 15 日

1-3. 調査項目

アンケート	調査項目
市民	①調査対象世帯の基本属性 ・性別、年齢、世帯人数、住宅の形態、居住地区、周囲の状況 ②ごみの排出状況について ・燃やせるごみ・燃やせないごみの排出頻度・排出量 ・ごみ減量の可能量 ・資源物指定品目等の排出方法 など ③ごみの減量やリサイクル等への取り組みについて ・ごみの減量やリサイクルへの関心、取り組み状況 ・レジ袋・マイバッグの利用状況、生ごみの処理状況 ④花巻市のごみに関する施策について ・市の情報提供への満足度、情報提供のあり方に関して ・ごみ処理経費に関して ・家庭ごみの有料化についての意見 など

1-4. 回収結果

アンケート	調査対象数 [A]	回収数 [B]	回収率 [B/A]
市民	2,000	915	45.8%

1-5. 報告書の見方

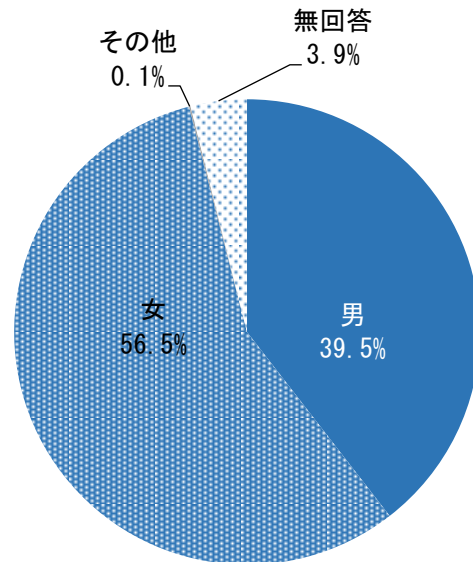
- (1) 回答は、各質問の回答者数を基数とした百分率で示すことを基本としました。
- (2) 百分率は、小数第二位を四捨五入したため、比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (3) 複数回答の質問については、比率の合計は 100.0%にはなりません。また、単数回答の質問についても、四捨五入の関係上、比率の合計が 100.0%にならない場合があります。
- (4) 選択式の質問については、該当者数を母数として比率を算出しました。
- (5) その他については、複数のご意見や「特になし」とご記入いただいた回答者もいることから「その他」を選択した回答者数と合わない場合があります。なお、件数が多いものは要約しています。

2. ごみに関する市民アンケート調査結果

Q 1. あなたの性別を、差し支えなければお答えください。〔1つ選ぶ〕

回答を得た市民の性別は、男が 39.5%、女が 56.5%です。

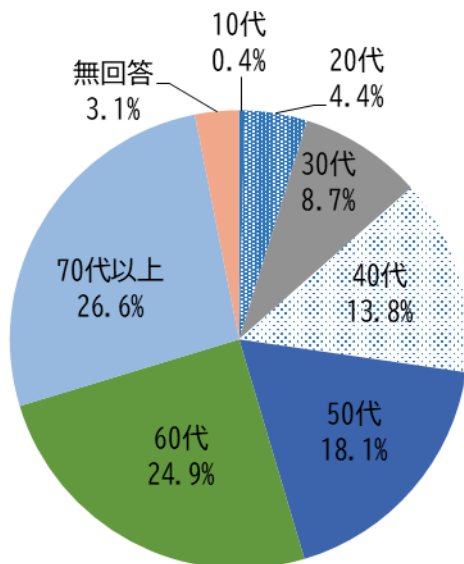
項 目		回答数	%
1	男	361	39.5%
2	女	517	56.5%
3	その他	1	0.1%
4	無回答	36	3.9%
小 計		915	100.0%



Q 2. あなたの年齢をお答えください。〔1つ選ぶ〕

回答を得た市民の年齢は、10代が 0.4%、20代が 4.4%、30代が 8.7%、40代が 13.8%、50代が 18.1%、60代が 24.9%、70代が 26.6%です。

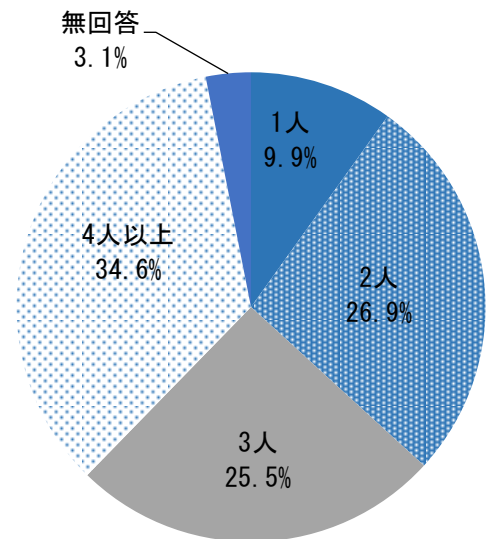
項 目		回答数	%
1	10代	4	0.4%
2	20代	40	4.4%
3	30代	80	8.7%
4	40代	126	13.8%
5	50代	166	18.1%
6	60代	228	24.9%
7	70代以上	243	26.6%
8	無回答	28	3.1%
小 計		915	100.0%



Q 3. 世帯の人数をお答えください。〔1つ選ぶ〕

回答を得た市民の世帯人数を見ると、1人が9.9%、2人が26.9%、3人が25.5%、4人以上が34.6%です。

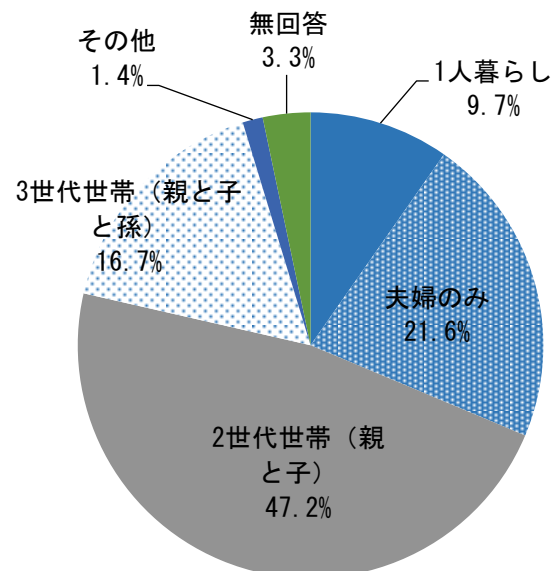
項 目		回答数	%
1	1人	91	9.9%
2	2人	246	26.9%
3	3人	233	25.5%
4	4人以上	317	34.6%
5	無回答	28	3.1%
小 計		915	100.0%



Q 4. 世帯構成をお答えください。〔1つ選ぶ〕

回答を得た市民の世帯構成をみると、1人暮らしが9.7%、夫婦のみが21.6%、2世代世帯が47.2%、3世代世帯が16.7%です。その他の回答としては兄弟・姉妹、4世代世帯です。

項 目		回答数	%
1	1人暮らし	89	9.7%
2	夫婦のみ	198	21.6%
3	2世代世帯（親と子）	432	47.2%
4	3世代世帯（親と子と孫）	153	16.7%
5	その他	13	1.4%
6	無回答	30	3.3%
小 計		915	100.0%

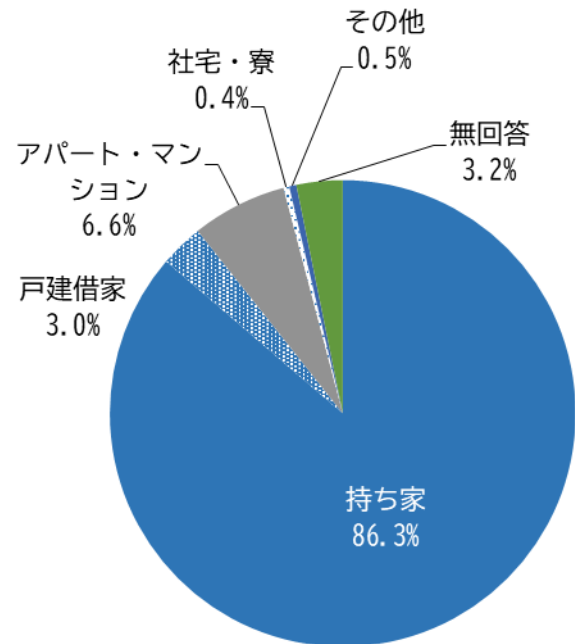


- ・ 兄弟・姉妹
- ・ 4世代世帯

Q 5. 住宅の形態をお答えください。〔1つ選ぶ〕

回答を得た市民の世帯構成をみると、持ち家が 86.3%、戸建借家が 3.0%、アパート・マンションが 6.6%、社宅・寮が 0.4%です。

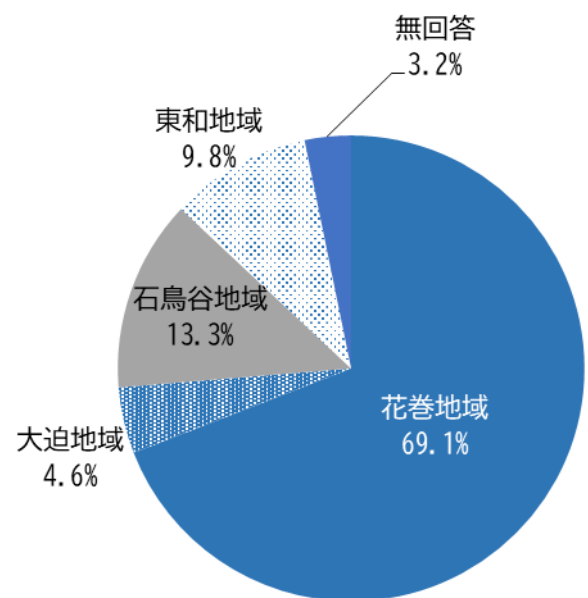
項 目	回答数	%
1 持ち家	790	86.3%
2 戸建借家	27	3.0%
3 アパート・マンション	60	6.6%
4 社宅・寮	4	0.4%
5 その他	5	0.5%
6 無回答	29	3.2%
小 計	915	100.0%



Q 6. 居住地区をお答えください。〔1つ選ぶ〕

回答を得た市民の居住地区をみると、花巻地域が 69.1%、大迫地域が 4.6%、石鳥谷地域が 13.3%、東和地域が 9.8%です。

項 目	回答数	%
1 花巻地域	632	69.1%
2 大迫地域	42	4.6%
3 石鳥谷地域	122	13.3%
4 東和地域	90	9.8%
5 無回答	29	3.2%
小 計	915	100.0%

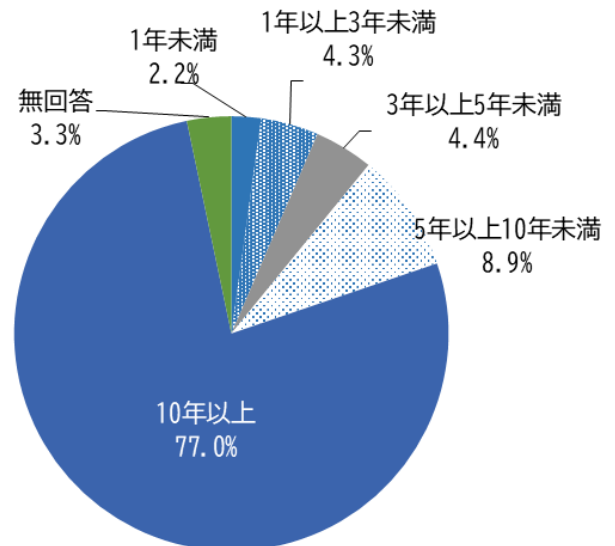


Q 7. 現在の住居でのこれまでの居住期間についてお答えください。〔1つ選ぶ〕

回答を得た市民の居住期間を見ると、1年未満が2.2%、1年以上3年未満が4.3%、3年以上5年未満が4.4%、5年以上10年未満が8.9%、10年以上が77.0%です。

居住期間は10年以上が最も多く、次いで5年以上10年未満となっており、これらが全体の約86%を占めています。

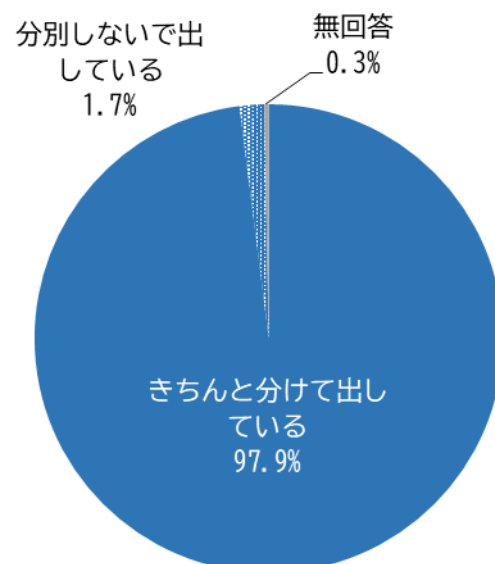
項 目	回答数	%
1 1年未満	20	2.2%
2 1年以上3年未満	39	4.3%
3 3年以上5年未満	40	4.4%
4 5年以上10年未満	81	8.9%
5 10年以上	705	77.0%
6 無回答	30	3.3%
小 計	915	100.0%



Q 8. あなたは、ごみを「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」「資源ごみ」に分けて捨てていますか。〔1つ選ぶ〕

回答を得た市民の分別意識を見ると、「きちんと分けて出している」が97.9%（前回：93.2%）、「分別しないで出している」が1.7%（前回：3.4%）となっていました。

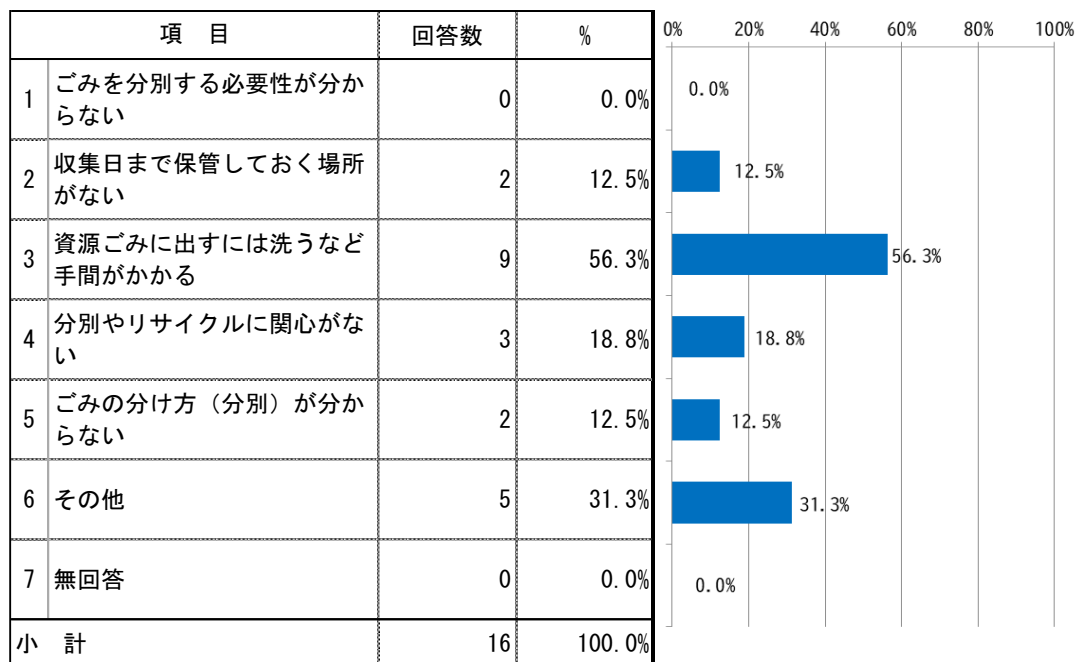
項 目	回答数	%
1 きちんと分けて出している	896	97.9%
2 分別しないで出している	16	1.7%
3 無回答	3	0.3%
小 計	915	100.0%



Q 8. で「2. 分別しないで出している」と答えた理由を教えてください。

〔いくつかでも〕

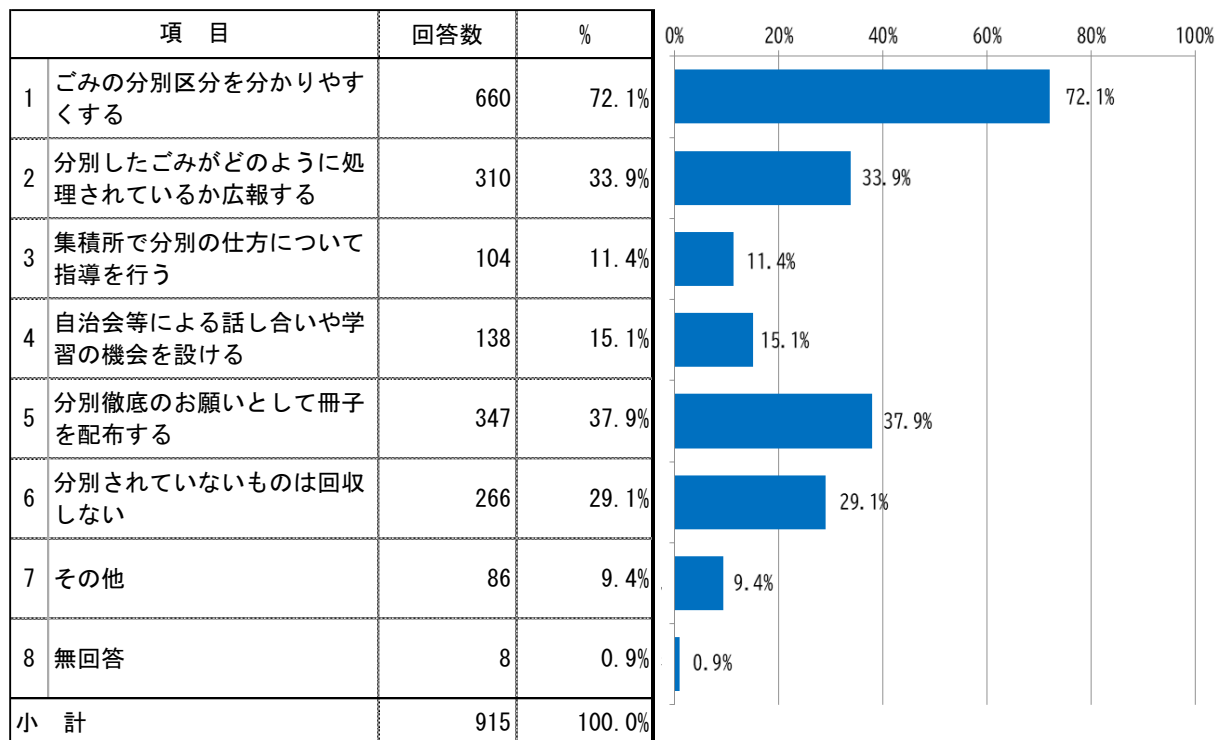
分別しないで排出している理由について、「資源ごみに出すには洗うなど手間がかかる」が 56.3%、「分別やリサイクルに関心がない」が 18.8%、「収集日まで保管しておく場所がない」、「ごみの分け方(分別)が分からない」が 12.5%となっています。



- ・指定日や時間が面倒。(1件)
- ・回収基準が厳しい。(1件)
- ・業者による回収のため。(1件)
- ・住んでいる地域では分別が徹底されていないため。(1件)
- ・水や洗剤の使用を避けているため。(1件)

Q 9. みなさんに、分別のルールを守ってごみを排出してもらうためには、どのようなしたら良いと思いますか。〔3つ選ぶ〕

分別のルールを守りごみを排出してもらうためにすべき行動について、「ごみの分別区分をわかりやすくする」が最も多く 72.1%（前回：73.7%）、次いで「分別徹底のお願いとして冊子を配布する」が 37.9%（前回：38.5%）、「分別したごみがどのように処理されているか広報する」が 33.9%（38.5%）、「分別されていないものは回収しない」が 29.1%（前回：31.2%）、「自治会等による話し合いや学習の機会を設ける」が 15.1%（14.8%）となっています。



1. 情報の分かりやすさの向上（15 件）

- 分別の詳細がわかる冊子を全世帯に配布
- AI チャットや検索機能の導入
- よく間違えるごみの分別事例を広報

2. コミュニティや行政の関与強化（13 件）

- アパート管理人が入居者にルールを徹底
- ごみ指導ボランティアやシルバー人材の活用
- 小中高での分別教育の充実

3. 監視や罰則の強化（12 件）

- 監視カメラの設置（ダミーでも可）
- ごみ袋に記名や番号を記載
- ルールを守らない人に罰則を設定

4. 収集ルールの改善（10 件）

- 回収できるごみの種類を増やす
- 24 時間捨てられる集積所の導入
- ごみ出しのタイミングを LINE で通知

5. 心理的アプローチ（7 件）

- 家の前にごみを置く方式にして、分別しないと回収されない仕組み
- 「分別しないとどう困るか」を伝える

6. インセンティブの導入（3 件）

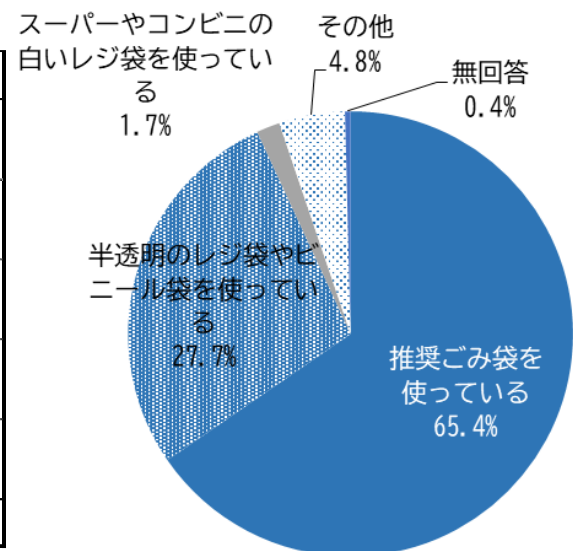
- 分別ができている地域に賞や商品を与える
- 正しく分別することで得られるメリットを明確にする

Q10. 花巻市では、推奨ごみ袋の代用として中身の見える半透明のレジ袋などを使用しても良いことになっていますが、ごみを出すときどのようにしていますか。

〔1つ選ぶ〕

ごみの排出の際の袋について、「推奨ごみ袋を使っている」が 65.4%、「半透明のレジ袋やビニール袋を使っている」が 27.7%、「スーパーやコンビニの白いレジ袋を使っている」が 1.7%となっています。

項 目	回答数	%
1 推奨ごみ袋を使っている	598	65.4%
2 半透明のレジ袋やビニール袋を使っている	253	27.7%
3 スーパーやコンビニの白いレジ袋を使っている	16	1.7%
4 その他	44	4.8%
5 無回答	4	0.4%
小 計	915	100.0%



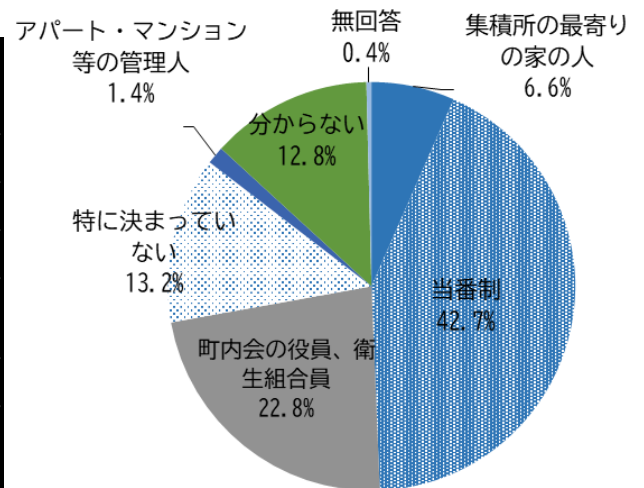
- ・推奨ごみ袋と半透明の袋を併用（26 件）
- ・100 均やホームセンターで購入した半透明袋を使用（6 件）
- ・燃やせるごみは推奨ごみ袋、それ以外は別の袋（5 件）
- ・レジ袋・透明袋を活用（4 件）

Q11. あなたがごみを出している集積所は、誰が清掃などの管理をしていますか。

〔1つ選ぶ〕

集積所の清掃について、「当番制」が42.7%（前回：43.3%）、「町内会の役員、衛生組合員」が22.8%（前回：19.3%）、「特に決まっていない」が13.2%（前回：14.0%）、「分からない」が12.8%（12.9%）となっています。

項 目	回答数	%
1 集積所の最寄りの家の人	60	6.6%
2 当番制	391	42.7%
3 町内会の役員、衛生組合員	209	22.8%
4 特に決まっていない	121	13.2%
5 アパート・マンション等の管理人	13	1.4%
6 分からない	117	12.8%
7 無回答	4	0.4%
小 計	915	100.0%

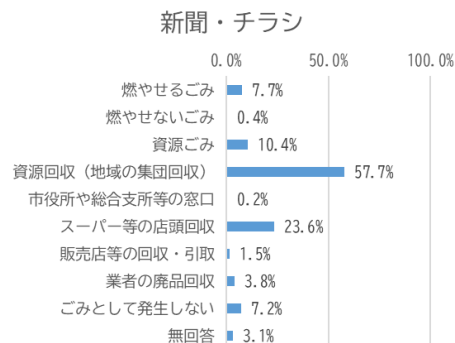


Q12. 以下に示す品目について、主な排出方法をお答えください。

(1) 新聞・チラシ

「資源回収（地域の集団回収）」が 57.7%（前回：71.7%）で最も比率が高く、次いで「スーパー等の店頭回収」が 23.6%（前回：11.7%）、「資源ごみ」が 10.4%（前回：14.1%）となっています。

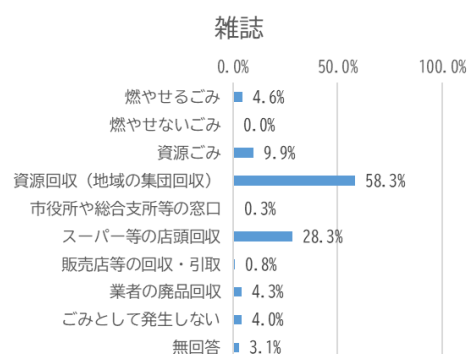
前回のアンケート時より、店頭回収の利用が高まっています。



(2) 雑誌

「資源回収（地域の集団回収）」が 58.3%（前回：72.2%）で最も比率が高く、次いで「スーパーなどの店頭回収」が 28.3%（前回：12.0%）、「資源ごみ」が 9.9%（前回：14.2%）となっています。

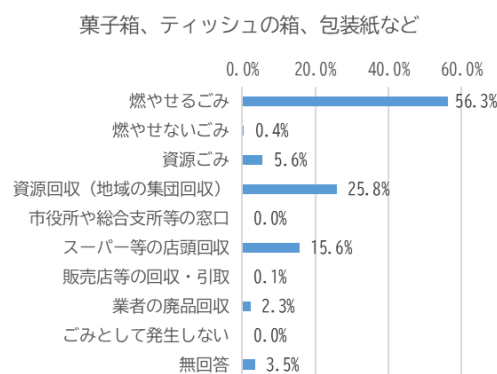
前回のアンケート時より、店頭回収の利用が高まっています。



(3) 菓子箱、ティッシュの箱、包装紙など

「燃やせるごみ」が 56.3%（前回：56.0%）で最も比率が高く、次いで「資源回収（地域の集団回収）」が 25.8%（前回：31.0%）、「スーパー等の店頭回収」が 15.6%（前回：6.1%）となっています。

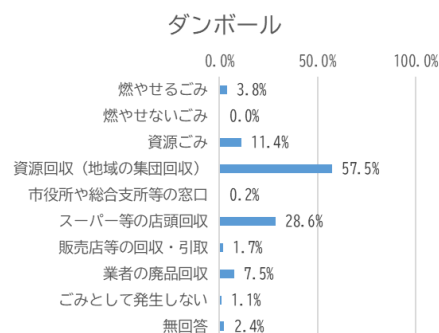
「燃やせるごみ」が最も多いことから資源回収や店頭回収への排出を促す必要があります。



(4) ダンボール

「資源回収（地域の集団回収）」が 57.5%（前回：71.7%）で最も比率が高く、次いで「スーパー等の店頭回収」が 28.6%（前回：5.0%）、「資源ごみ」が 11.4%（前回：15.4%）となっています。

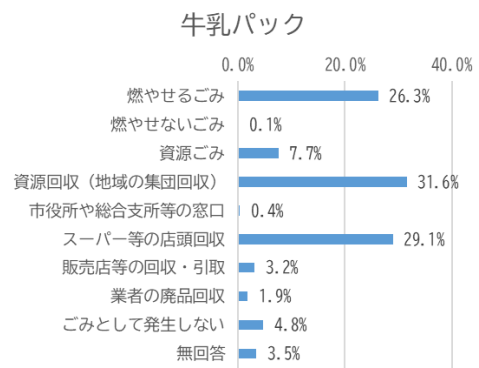
「燃やせるごみ」は 3.8%（前回：7.7%）であり、資源として排出することが普及しています。



(5) 牛乳パック

「資源回収（地域の集団回収）」が31.6%（前回：42.5%）で最も比率が高く、次いで「スーパー等の店頭回収」が29.1%（前回：21.9%）、「燃やせるごみ」が26.3%（前回：23.1%）となっています。

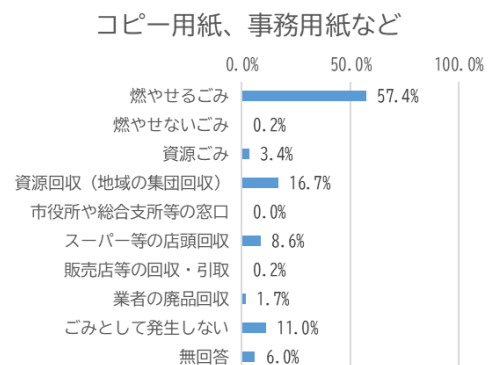
資源として排出することが普及していますが、「燃やせるごみ」に排出する比率も高くなっています。



(6) コピー用紙、事務用紙など

「燃やせるごみ」が57.4%（前回：53.9%）で最も比率が高く、次いで「資源回収（地域の集団回収）」が16.7%（前回：20.8%）、「ごみとして発生しない」が11.0%となっています。

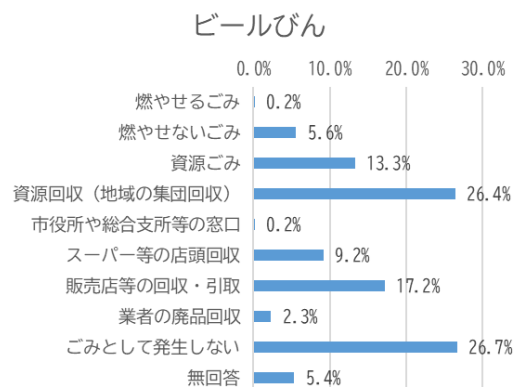
「燃やせるごみ」が最も多いことから資源回収や店頭回収への排出を促す必要があります。



(7) ビールびん

「ごみとして発生しない」が26.7%で最も比率が高く、次いで「資源回収（地域の集団回収）」が26.4%（前回：37.7%）、「販売店等の回収・引取」が17.2%（前回：23.7%）となっています。

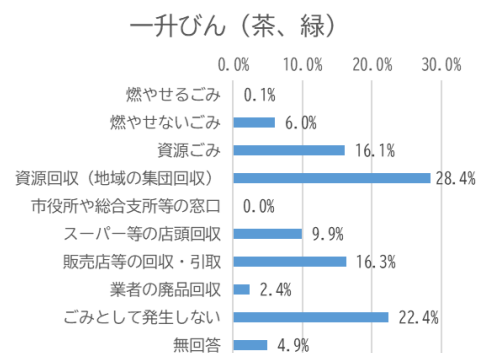
資源として排出することが普及しています。



(8) 一升びん（茶・緑）

「資源回収（地域の集団回収）」が28.4%（前回：35.8%）で最も比率が高く、次いで「ごみとして発生しない」が22.4%、「販売店等の回収・引取」が16.3%（前回：22.0%）、「となっていてい

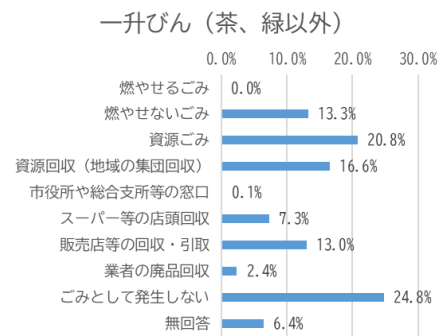
ます。資源として排出することが普及しています。



(9) 一升びん（茶・緑以外）

「ごみとして発生しない」が24.8%で最も比率が高く、次いで「資源ごみ」が20.8%（前回：20.8%）、「資源回収（地域の集団回収）」が16.6%（前回：21.4%）、となっています。

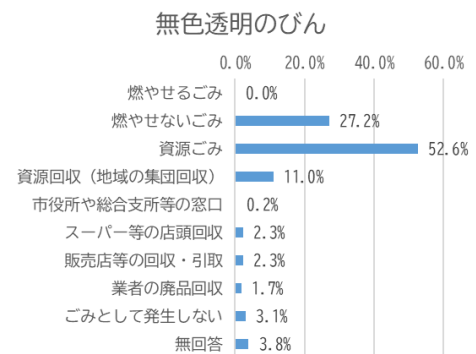
資源として排出することが普及していますが、「燃やせないごみ」として排出する比率も高くなっています。



(10) 無色透明のびん

「資源ごみ」が52.6%（前回：48.5%）で最も比率が高く、次いで「燃やせないごみ」が27.2%（前回：27.8%）、「資源回収（地域の集団回収）」が11.0%（前回：13.7%）となっています。

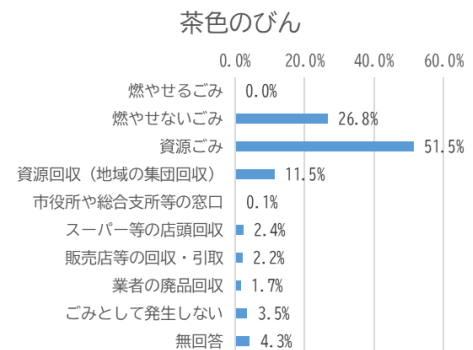
資源として排出することが普及していますが、「燃やせないごみ」に排出する比率も高くなっています。



(11) 茶色のびん

「資源ごみ」が51.5%（前回：48.9%）で最も比率が高く、次いで「燃やせないごみ」が26.8%（前回：27.5%）、「資源回収（地域の集団回収）」が11.5%（前回：13.3%）となっています。

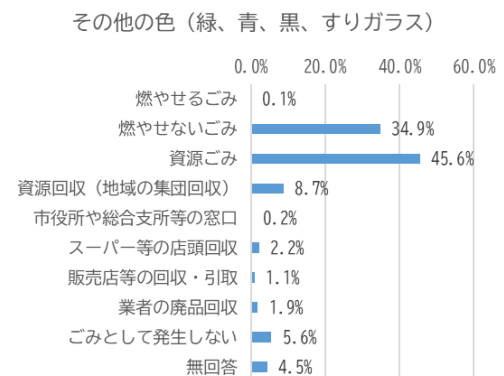
資源として排出することが普及していますが、「燃やせないごみ」に排出する比率も高くなっています。



(12) その他の色（緑、青、黒、すりガラス）

「資源ごみ」が45.6%（前回：44.5%）で最も比率が高く、次いで「燃やせないごみ」が34.9%（前回：34.9%）、「資源回収（地域の集団回収）」が8.7%（前回：8.7%）となっています。

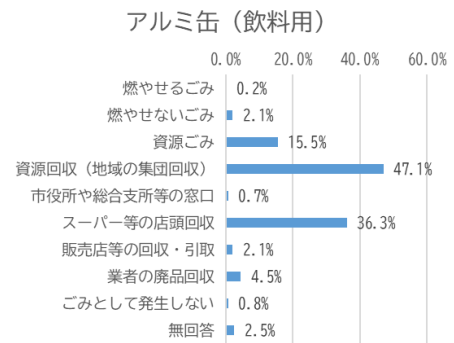
資源として排出することが普及していますが、「燃やせないごみ」に排出する比率も高くなっています。



(13) アルミ缶（飲料用）

「資源回収（地域の集団回収）」が 47.1%（前回：63.4%）で最も比率が高く、次いで「スーパー等の店頭回収」が 36.3%（前回：23.3%）、「資源ごみ」が 15.5%（前回：15.8%）となっています。

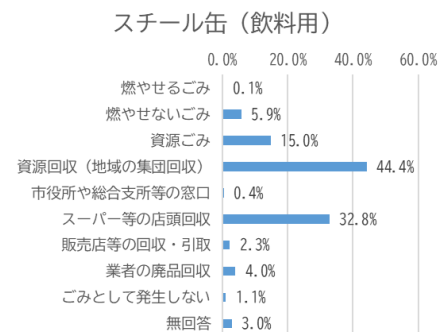
前回のアンケート時より、店頭回収の利用が高まっています。



(14) スチール缶（飲料用）

「資源回収（地域の集団回収）」が 44.4%（前回：57.9%）で最も比率が高く、次いで「スーパー等の店頭回収」が 32.8%（前回：18.3%）、「資源ごみ」が 15.0%（前回：15.7%）となっています。

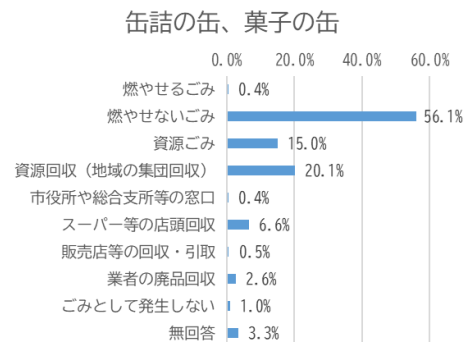
前回のアンケート時より、店頭回収の利用が高まっています。



(15) 缶詰の缶、菓子の缶

「燃やせないごみ」が 56.1%（前回：57.3%）で最も比率が高く、次いで「資源回収（地域の集団回収）」が 20.1%（前回：24.9%）、「資源ごみ」が 15.0%（前回：11.8%）となっています。

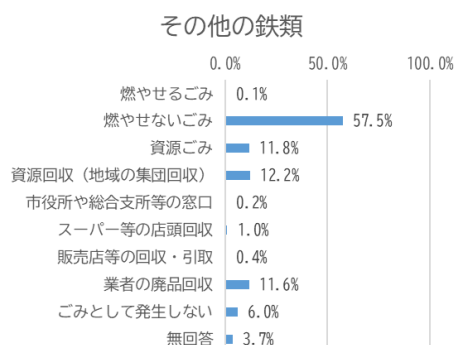
「燃やせないごみ」や資源として排出することが普及しています。



(16) その他の鉄類

「燃やせないごみ」が 57.5%（前回：56.3%）で最も比率が高く、次いで「資源回収（地域の集団回収）」が 12.2%（前回：19.1%）、「資源ごみ」が 11.8%（前回：11.1%）となっています。

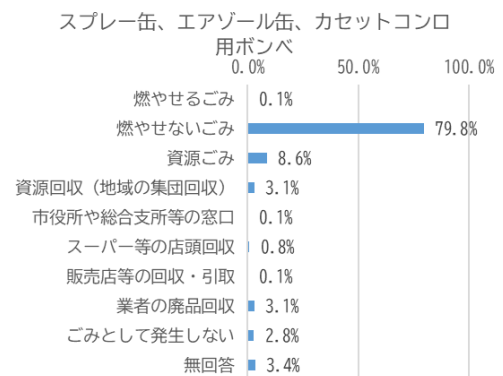
「燃やせないごみ」として排出することが普及しています。



(17) スプレー缶、エアゾール缶、カセットコンロ用ボンベ

「燃やせないごみ」が 79.8%（前回：80.7%）で最も比率が高く、次いで「資源ごみ」が 8.6%（前回：5.8%）、「資源回収（地域の集団回収）」が 3.1%（前回：4.2%）となっています。

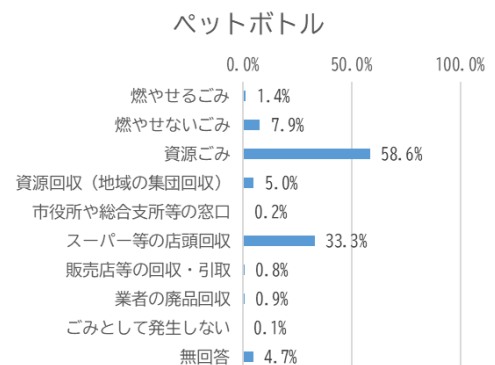
「燃やせないごみ」として排出することが普及しています。



(18) ペットボトル

「資源ごみ」が 58.6%（前回：61.6%）で最も比率が高く、次いで「スーパー等の店頭回収」が 33.3%（前回：19.2%）、「燃やせないごみ」が 7.9%（前回：9.0%）となっています。

前回のアンケート時より、店頭回収の利用が高まっています。

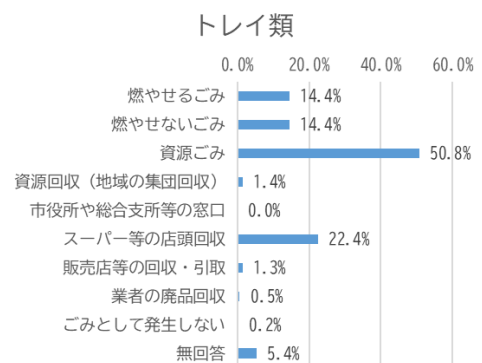


(19) トレイ類

（プラマークのあるもの）

「資源ごみ」が 50.8%（前回：46.4%）で最も比率が高く、次いで「スーパー等の店頭回収」が 22.4%（前回：18.6%）、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」が 14.4%（前回：13.6%、17.9%）となっています。

資源として排出することが普及しています。

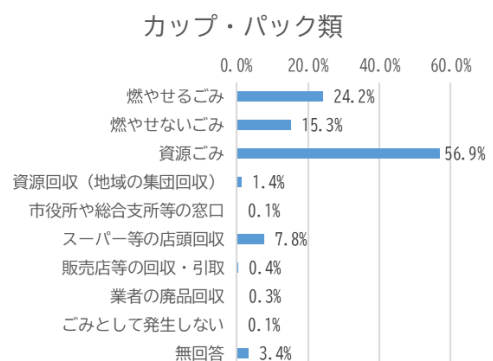


(20) カップ・パック類

（プラマークのあるもの）

「資源ごみ」が 56.9%（前回：47.6%）で最も比率が高く、次いで「燃やせるごみ」が 24.2%（前回：23.5%）、「燃やせないごみ」が 15.3%（前回：21.5%）となっています。

資源として排出することが普及していますが、「燃やせるごみ」「燃やせないごみ」として排出する比率も高くなっています。

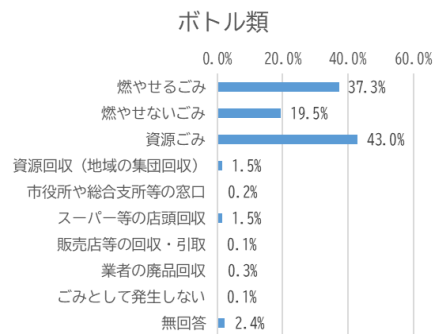


(21) ボトル類

(プラマークのあるもの)

「資源ごみ」が 43.0% (前回 : 38.7%) で最も比率が高く、次いで「燃やせるごみ」が 37.3% (前回 : 34.6%)、「燃やせないごみ」が 19.5% (前回 : 30.0%) となっています。

資源として排出することが普及していますが、「燃やせるごみ」に排出する比率も高くなっています。なお、「資源ごみ」と「燃やせないごみ」は収集が同日なため、混同し「燃やせないごみ」の比率が高いことが考えられます。

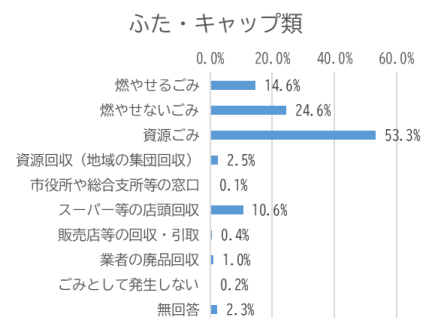


(22) ふた・キャップ類

(プラマークのあるもの)

「資源ごみ」が 53.3% (前回 : 47.8%) で最も比率が高く、次いで「燃やせないごみ」が 24.6% (前回 : 28.1%)、「燃やせるごみ」が 14.6% (前回 : 11.1%) となっています。

資源として排出することが普及しています。なお、「資源ごみ」と「燃やせないごみ」は収集が同日なため、混同し「燃やせないごみ」の比率が高いことが考えられます。

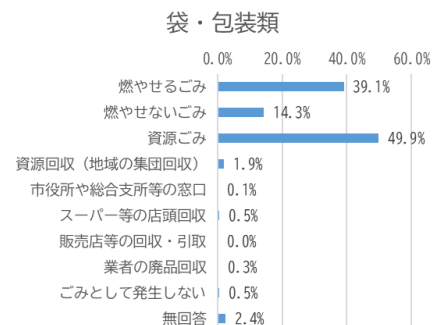


(23) 袋・包装類

(プラマークのあるもの)

「資源ごみ」が 49.9% (前回 : 43.3%) で最も比率が高く、次いで「燃やせるごみ」が 39.1% (前回 : 34.7%)、「燃やせないごみ」が 14.3% (前回 : 17.6%) となっています。

資源として排出することが普及していますが、「燃やせるごみ」に排出する比率も高くなっています。

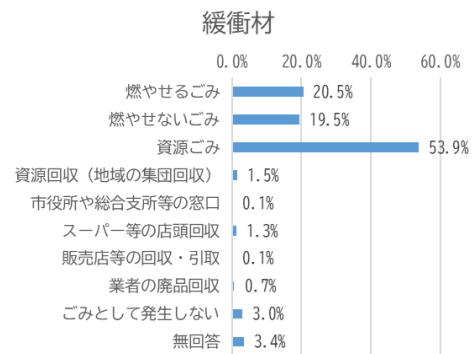


(24) 緩衝材

(プラマークのあるもの)

「資源ごみ」が 53.9%（前回：44.4%）で最も比率が高く、次いで「燃やせるごみ」が 20.5%（前回：20.0%）、「燃やせないごみ」が 19.5%（前回：22.8%）となっています。

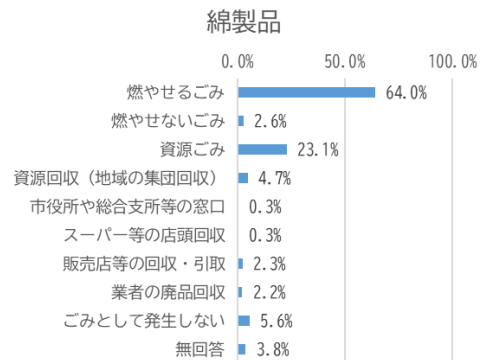
資源として排出することが普及していますが、「燃やせるごみ」に排出する比率も高くなっています。なお、「資源ごみ」と「燃やせないごみ」は収集が同日なため、混同し「燃やせないごみ」の比率が高いことが考えられます。



(25) 衣類（綿製品）

「燃やせるごみ」が 64.0%（前回：61.0%）で最も比率が高く、次いで「資源ごみ」が 23.1%（前回：21.4%）、「ごみとして発生しない」が 5.6%となっています。

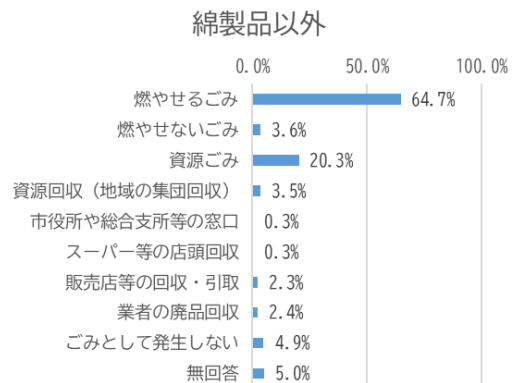
回答者の過半数は、「燃やせるごみ」としており、資源回収等への排出を促す必要があります。



(26) 衣類（綿製品以外）

「燃やせるごみ」が 64.7%（前回：62.5%）で最も比率が高く、次いで「資源ごみ」が 20.3%（前回：17.1%）、「ごみとして発生しない」が 4.9%となっています。

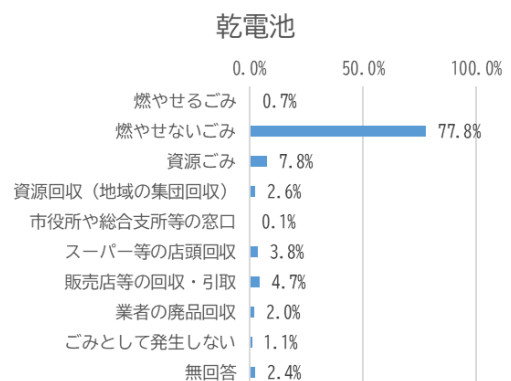
回答者の過半数は、「燃やせるごみ」としており、資源回収等への排出を促す必要があります。



(27) 乾電池

「燃やせないごみ」が 77.8%（前回：76.3%）で最も比率が高く、次いで「資源ごみ」が 7.8%（前回：6.7%）、「販売店等の回収・引取」が 4.7%（前回：5.2%）となっています。

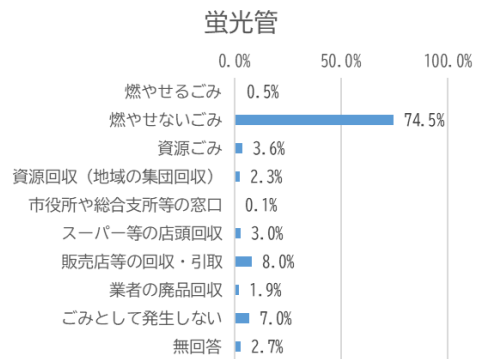
「燃やせないごみ」として排出することが普及しています。



(28) 蛍光灯

「燃やせないごみ」が74.5%（前回：81.4%）で最も比率が高く、次いで「販売店等の回収・引取」が8.0%（前回：6.5%）、「資源ごみ」が3.6%（前回：2.5%）となっています。

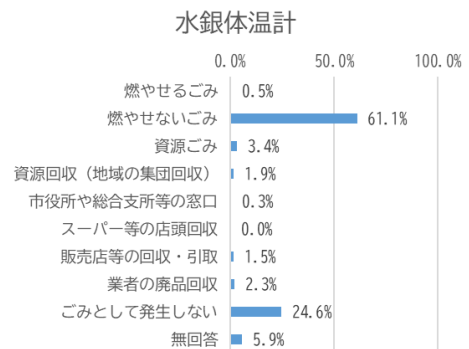
「燃やせないごみ」として排出することが普及しています。



(29) 水銀体温計

「燃やせないごみ」が61.1%（前回：68.7%）で最も比率が高く、次いで「ごみとして発生しない」が24.6%となっています。

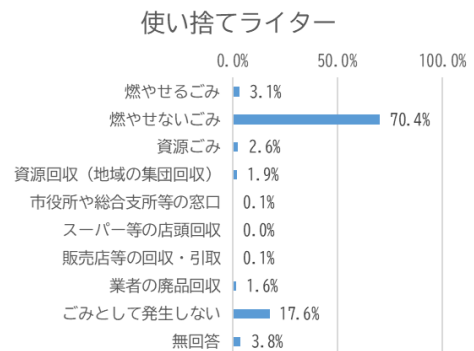
「燃やせないごみ」として排出することが普及しています。



(30) 使い捨てライター

「燃やせないごみ」が70.4%（前回：68.7%）で最も比率が高く、次いで「ごみとして発生しない」が17.6%となっています。

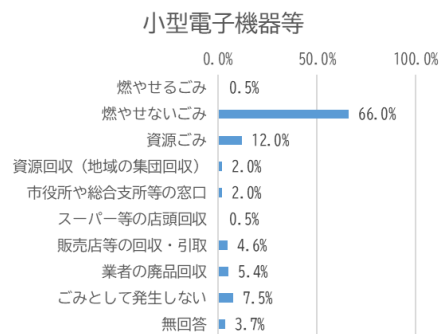
「燃やせないごみ」として排出することが普及しています。



(31) 小型電子機器等

「燃やせないごみ」が66.0%（前回：58.3%）で最も比率が高く、次いで「資源ごみ」が12.0%（前回：13.7%）、「ごみとして発生しない」が7.5%となっています。

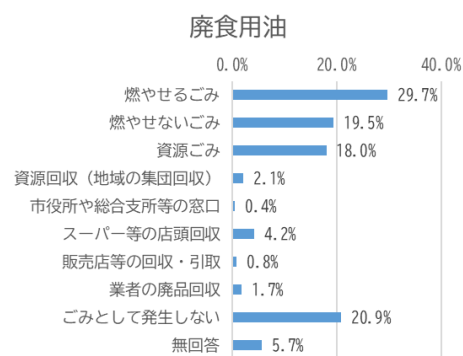
回答者の過半数は、「燃やせないごみ」としており、資源ごみへの排出を促す必要があります。



(32) 廃食用油

「燃やせるごみ」が29.7%（前回：26.6%）で最も比率が高く、次いで「ごみとして発生しない」が20.9%、「燃やせないごみ」が19.5%（前回：17.0%）、「資源ごみ」が18.0%（前回：20.9%）となっています。

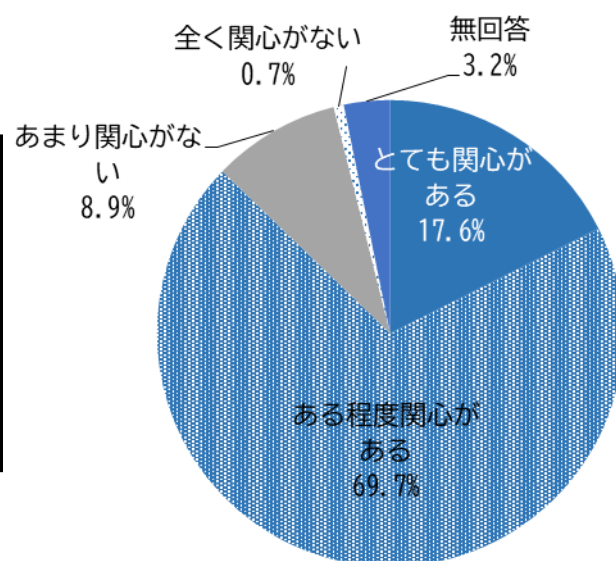
「燃やせるごみ」が多いことから、資源ごみへの排出を促す必要があります。なお、「資源ごみ」と「燃やせないごみ」は収集が同日なため、混同し「燃やせないごみ」の比率が高いことが考えられます。



Q13. ごみの減量、リサイクル、食品ロスなどについて関心はありますか。〔1つ選ぶ〕

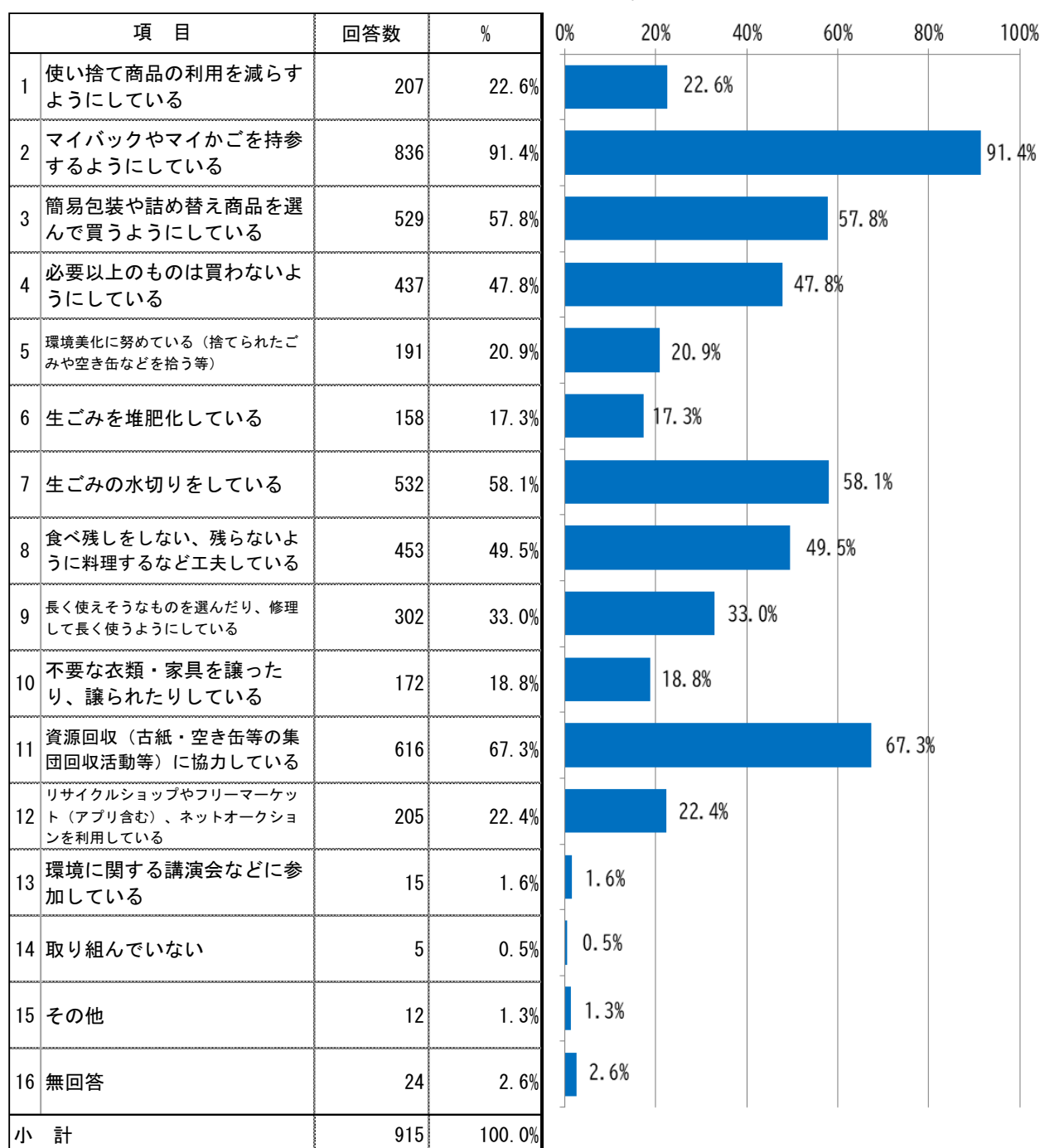
「とても関心がある」が17.6%、「ある程度関心がある」が69.7%であり、合わせて87.3%（前回：88.2%）の回答者が、ごみの減量やリサイクルなどのごみ問題に関心を示しています。

項目	回答数	%
1 とても関心がある	161	17.6%
2 ある程度関心がある	638	69.7%
3 あまり関心がない	81	8.9%
4 全く関心がない	6	0.7%
5 無回答	29	3.2%
小 計	915	100.0%



Q14. ごみに関することで現在、取り組んでいることをお答えください。[いくつでも]

「マイバッグやマイかごを持参するようにしている」が91.4%（前回：62.6%）で最も比率が高く、次いで「資源回収（古紙・空き缶等の集団回収活動等）に協力している」が67.3%（前回：77.7%）、「生ごみの水切りをしている」が58.1%、「簡易包装や詰め替え商品を選んで買うようにしている」が57.8%（前回：32.9%）、「食べ残しをしない、残らないように料理するなど工夫している」が49.5%、「必要以上のものは買わないようにしている」が47.8%、「長く使えそうなものを選んだり、修理して長く使うようにしている」が33.0%となっています。

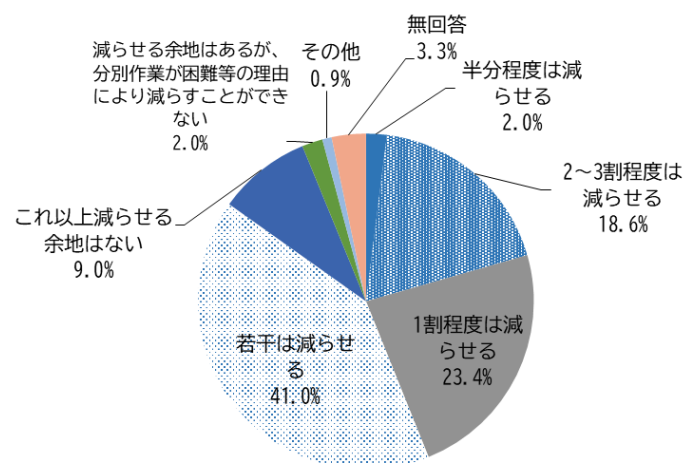


1. <u>リサイクル・資源回収の活用（3件）</u>
● 不要なものは福祉団体や資源回収業者に提供。
● 紙類・鉄類は今弘商店で買い取ってもらう。
2. <u>ごみの発生を抑える工夫（4件）</u>
● カット野菜を購入し、生ごみを減らす。
● 埋め立てごみになる製品は極力購入しない。
● マイボトルを使用し、ペットボトルを買わないようにしている。
3. <u>環境配慮の行動（3件）</u>
● 散歩中にごみを拾う。
● 自然に戻る素材を意識して購入。
4. <u>環境に関する学び（1件）</u>
● 女性団体組織で勉強会を開きました。

Q15. あなたの家庭では、ごみの発生抑制や資源化に取り組むことにより、現在排出しているごみの量を、どの程度まで減らすことが可能と考えますか。〔1つ選ぶ〕

「若干は減らせる」が41.0%（前回：34.8%）で最も比率が高く、次いで「1割程度は減らせる」が23.4%（前回：17.4%）、「2～3割程度は減らせる」が18.6%（前回：19.0%）、「これ以上減らせる余地はない」が9.0%（前回：14.6%）、「半分程度は減らせる」、「減らせる余地はあるが、分別作業が困難等の理由により減らすことができない」が2.0%（前回：3.5%）となっています。

項 目	回答数	%
1 半分程度は減らせる	18	2.0%
2 2～3割程度は減らせる	170	18.6%
3 1割程度は減らせる	214	23.4%
4 若干は減らせる	375	41.0%
5 これ以上減らせる余地はない	82	9.0%
6 減らせる余地はあるが、分別作業が困難等の理由により減らすことができない	18	2.0%
7 その他	8	0.9%
8 無回答	30	3.3%
小 計	915	100.0%



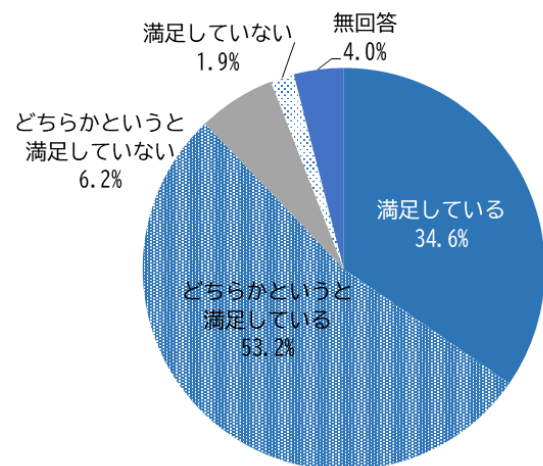
1. これ以上のごみの減量は困難（2件）
2. 分別の手間と環境の問題（3件）
3. 回収方法の利便性向上をすべき（4件）
4. ごみ袋の有料化をもっと推進すべき（1件）
5. 生ごみのたい肥化ができれば減量の可能性はある（1件）

Q16. 花巻市のごみの収集回数や分別方法に満足していますか。〔1つ選ぶ〕

「満足している」が 34.6%、「どちらかという満足している」が 53.2%であり、合わせて 87.8%（前回：85.6%）の回答者が市のごみの収集・処理に満足しています。

また、市のごみの収集・処理に「満足していない」、「どちらかという満足していない」は合計 8.1%（前回：7.9%）となっています。

項 目	回答数	%
1 満足している	317	34.6%
2 どちらかという満足している	487	53.2%
3 どちらかという満足していない	57	6.2%
4 満足していない	17	1.9%
5 無回答	37	4.0%
小 計	915	100.0%



「満足していない」点について、具体的に記入してください。

1. 回収対象の拡充（27件）

- 缶・ビン・ペットボトル回収の増加
- 段ボール・古紙・雑誌など、紙ごみ（ティッシュ箱、菓子箱等含む）の回収
- 衣類の回収頻度の増加
- アルミ・スチール缶の回収
- 粗大ごみの回収拡充（タンス、マットレス等）
- リチウム電池の回収方法明確化
- 食品ロス対策（堆肥化できる仕組みの構築）

2. 収集方法・ルールに関する不満（11件）

- 回収される・されない基準が曖昧
- 分別が適当な地域と厳しい地域の差が大きい
- 回収者の判断がバラバラで統一されていない

- 集積所のルールが厳しすぎる、カギ付きで出せない
- 町内会に入っていないと集積所が使えないのか疑問に思っている
- 集積所の環境（カギ開け、清掃の負担）

3. 収集回数に関する不満（22 件）

- 燃えるごみの回収頻度増加希望
- 燃えないごみの回収頻度増加希望
- ペットボトル・資源ごみの回収頻度増加希望
- 連休中も回収してほしい
- 特定の品目の回収頻度が少ない（例：衣類）

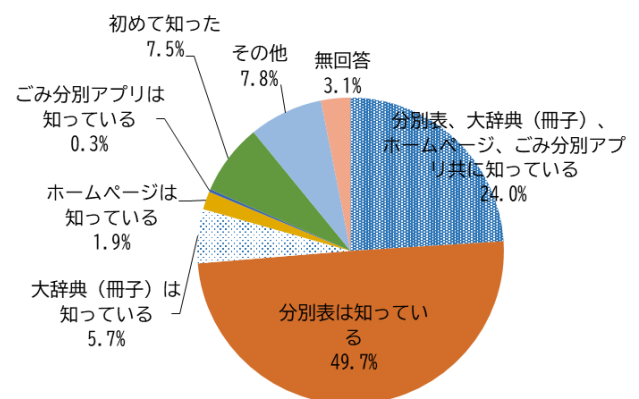
4. 分別ルール・方法に関する不満（32 件）

- 分別が細かすぎる、難しい
- 汚れの基準が不明確（ガラスビン、プラトレイなど）
- 市のガイドラインが不十分で迷う（AI アプリ希望など）
- 自治体間でルールが違いすぎる

Q17. 花巻市では、ごみ収集分別表や分別大辞典（冊子）を配布したり、ホームページやごみ分別アプリ「ごみサク」へ掲載するなどごみの分別に関する情報提供を行っています。このことについてどの程度ご存じですか。〔1つ選ぶ〕

「分別表は知っている」が 49.7%（前回：51.8%）で最も比率が高く、次いで、「分別表、大辞典（冊子）、ホームページ、ごみ分別アプリ、共に知っている」が 24.0%（前回：29.1%）、「初めて知った」が 7.5%（前回：6.6%）、「大辞典（冊子）は知っている」が 5.7%（前回：4.8%）となっています。

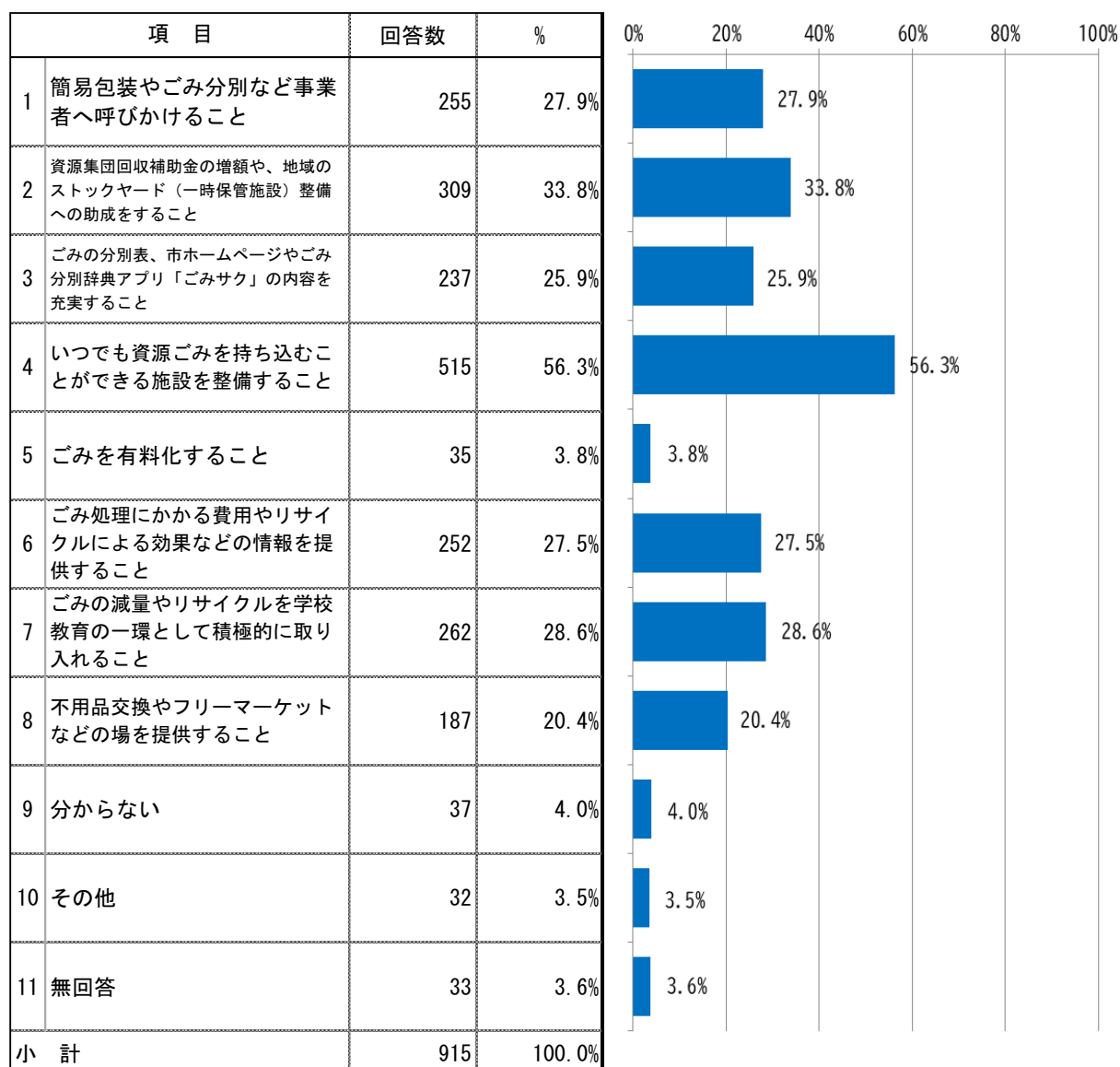
項 目	回答数	%
1 分別表、大辞典（冊子）、ホームページ、ごみ分別アプリ共に知っている	220	24.0%
2 分別表は知っている	455	49.7%
3 大辞典（冊子）は知っている	52	5.7%
4 ホームページは知っている	17	1.9%
5 ごみ分別アプリは知っている	3	0.3%
6 初めて知った	69	7.5%
7 その他	71	7.8%
8 無回答	28	3.1%
小 計	915	100.0%



- ・ 分別表、大辞典（冊子）は知っている。
- ・ 分別表、大辞典（冊子）、ホームページは知っている。

Q18. 今後、ごみの減量やリサイクルを進めるためには、行政の取り組みとして何が必要だと思いますか。〔3つ選ぶ〕

「いつでも資源ごみを持ち込むことができる施設を整備すること」が 56.3%で最も比率が高く、次いで「資源集団回収補助金の増額や地域のストックヤード（一時保管施設）整備への助成をすること」が 33.8%（前回：33.2%）、「ごみの減量やリサイクルを学校教育の一環として積極的に取り入れること」が 28.6%（前回：34.5%）、「簡易包装やごみ分別など事業者へ呼びかけること」が 27.9%、「ごみの処理にかかる費用やリサイクルによる効果などの情報を提供すること」が 27.5%となっています。



1. 分別・回収システムの強化（9件）

- ごみの分別を少なくする（一本化）
- 資源ごみの回収施設・場所の増設

- 段ボールや重い資源ごみの行政回収強化
- プラごみの回収頻度を増やし、洗わず出せる仕組み

2. 市民の意識向上と教育（8件）

- 学校を通じた子どもへの環境教育
- アパート・借家住民への分別冊子配布
- 高齢者向けにアプリや分別の周知強化
- ごみ減量・リサイクルの具体的な方法を広報

3. 規制やインセンティブの導入（6件）

- 包装税を導入し、業者の負担を増やす
- 国に対してペットボトルやプラ製品の規制を働きかける
- 企業への指導（紙・鉄類の適正回収）
- ルールを守らない人への対策強化

4. リサイクルのインフラ整備（5件）

- 市が主導してリサイクル会社を設立（雇用創出も兼ねる）
- 過剰包装を減らし、量り売りを推奨
- 生ごみ処理機の助成金制度

5. ごみ削減キャンペーン（5件）

- 「物を買わない」「節約生活」の推奨
- マイバッグ・マイカップ・マイ箸の推奨
- ごみ削減に関する啓発キャンペーン

6. 技術・デジタルの活用（3件）

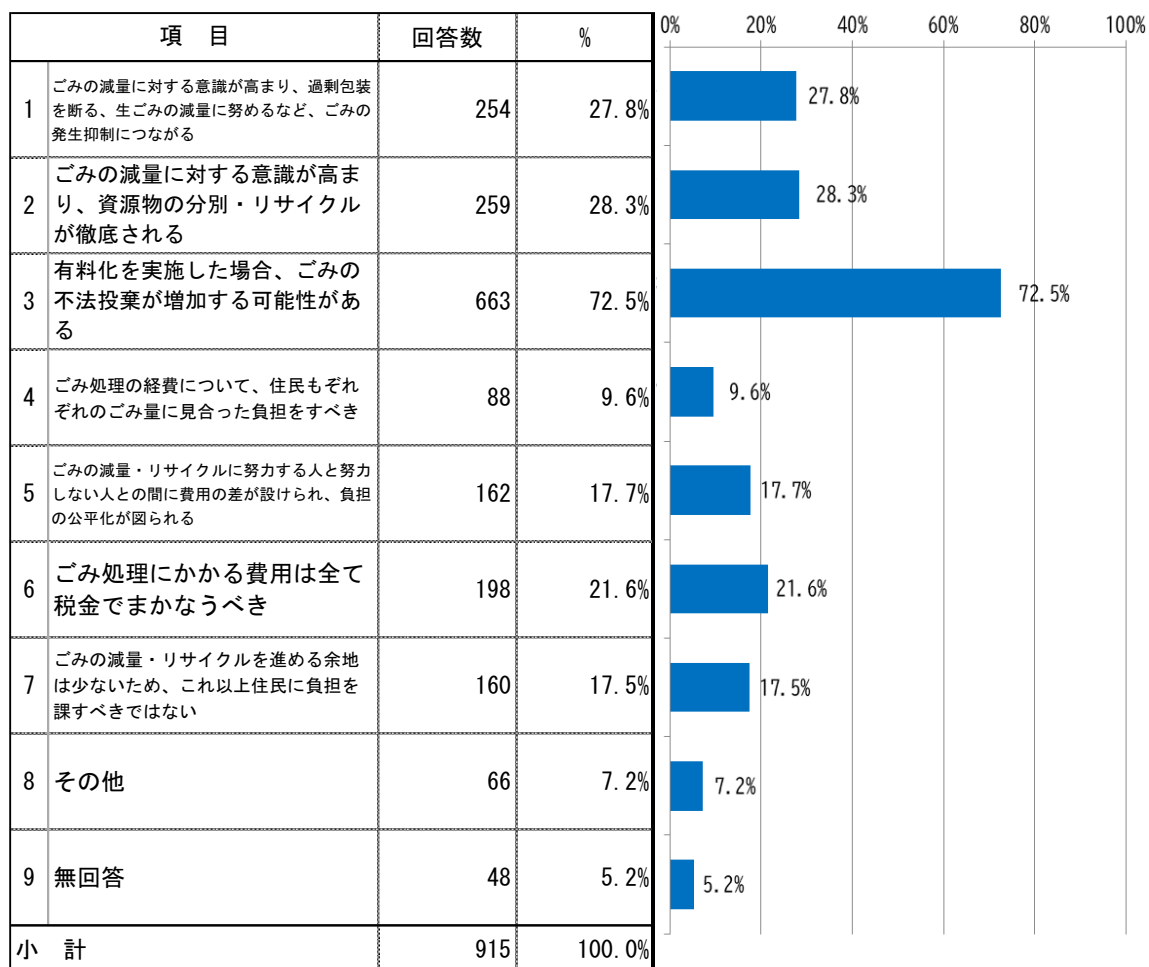
- ごみ分別を識別するカメラ機能付きアプリ
- ポイント還元アプリの導入でリサイクル促進
- ごみの分別やリサイクル情報を簡単に検索できるアプリの周知

7. 高齢者や障がい者の活用（2件）

- 分別作業をシルバー・障がい者の雇用につなげる
- 一人暮らし高齢者のごみ問題支援（ごみ屋敷対策など）

Q19. ごみの減量化を図るための方法のひとつとして家庭ごみの有料化が有効とされています。このことについて、あなたはどのように考えますか。[いくつかでも]

「有料化を実施した場合、ごみの不法投棄が増加する可能性がある」が 72.5%（前回：64.1%）で最も比率が高く、次いで「ごみの減量に対する意識が高まり、資源物の分別・リサイクルが徹底される」が 28.3%（前回：27.8%）、「ごみの減量に対する意識が高まり、過剰包装を断る、生ごみの減量に努めるなど、ごみの発生抑制につながる」が 27.8%（前回：30.4%）、「ごみ処理にかかる費用は全て税金でまかなうべき」が 21.6%（前回：36.1%）となっています。



1. 有料化への反対（25 件）

- すでに税金を払っているので追加負担は不公平
- 有料化してもごみの減量にはつながらない
- 経済的負担が増すため反対
- そもそも有料化する理由が不明瞭
- 市の推奨袋を使用している
- 業者に毎月別途支払っている

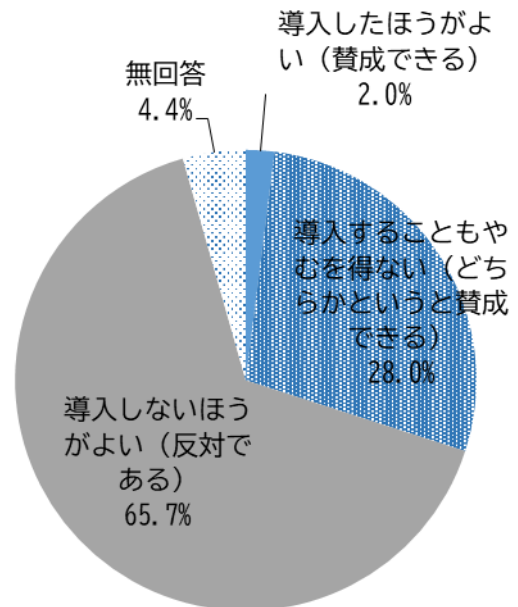
2. 有料化への賛成・容認（完全賛成・条件付き賛成を含む）（14 件）

- ごみ処理には費用がかかるため、有料化はやむを得ない
 - ごみの減量意識が高まる
 - 他自治体を参考にすべき
 - 資源ごみは無料、燃えるごみは有料など工夫が必要
3. 条件次第で検討可能（負担軽減策や公平性を考慮）（12 件）
- 他の税負担を減らすなら考慮
 - どのような方式なのかによる（例えば排出量に応じた課金なら可）
 - 資源ごみ回収の利便性を高めるなら有料化を検討
4. 分別・リサイクルの強化が先決（11 件）
- まずは分別意識を高めるべき
 - リサイクルできるものは有料化しなくてもよい
 - 分別を徹底することで負担を減らすべき
5. 不法投棄・ごみ屋敷の増加への懸念（10 件）
- 有料化により不法投棄が増える
 - コンビニにごみを持ち込む人が増える
 - ごみ屋敷が増える恐れ
6. 高齢者・低所得者への配慮が必要（9 件）
- 高齢者やひとり暮らし世帯には負担が大きい
 - 年金生活者には厳しい
 - 分別が難しい高齢者もいる
7. 企業・販売店側の責任を強化すべき（6 件）
- 過剰包装を減らす取り組みが必要
 - 販売業者がごみ処理費用を負担すべき
 - リサイクル容器の普及を進めるべき
8. インセンティブ・メリットを与える方法がよい（5 件）
- ルールを守った人にポイントや税金控除などのメリットを
 - きちんと分別した人には優遇策を導入
9. 具体的な情報・他自治体の事例が知りたい（4 件）
- 他の自治体の有料化の状況を知りたい
 - 実際に有料化したらどのような効果があったのか

Q20. 花巻市が家庭ごみの有料化を導入する可能性について、どのように考えますか。
〔1つ選ぶ〕

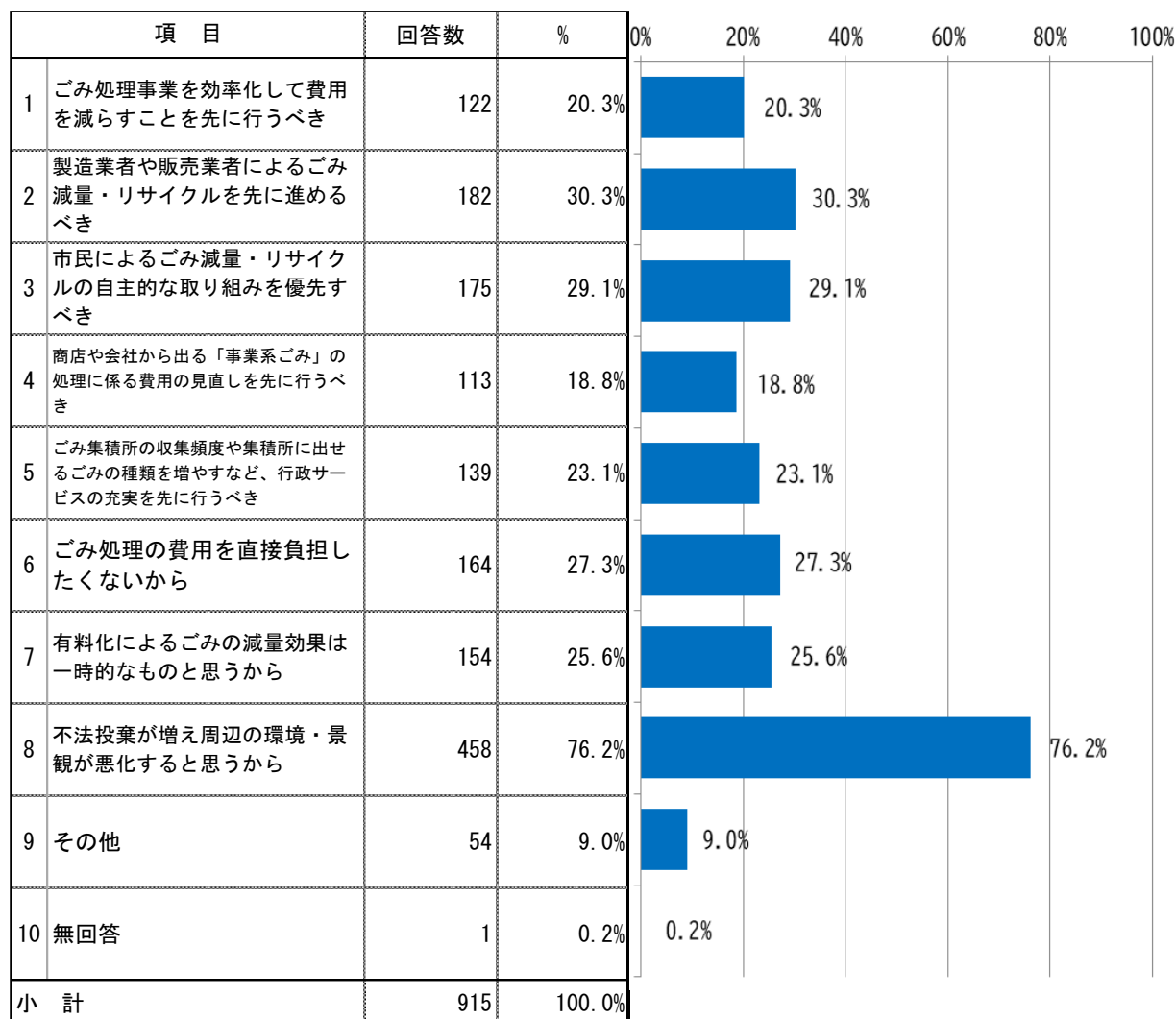
「導入したほうがよい（賛成できる）」が2.0%、「導入することもやむを得ない（どちらかというと賛成できる）」が28.0%であり、合わせて30%の回答者が市の有料化導入に賛成している一方で「導入しないほうがよい（反対である）」が65.7%となっています。

項 目		回答数	%
1	導入したほうがよい（賛成できる）	18	2.0%
2	導入することもやむを得ない（どちらかというと賛成できる）	256	28.0%
3	導入しないほうがよい（反対である）	601	65.7%
4	無回答	40	4.4%
小 計		915	100.0%



Q20. で「3. 導入しないほうがよい（反対である）」と答えた理由を教えてください（いくつでも）

「不法投棄が増え、周辺の環境・景観が悪化すると思うから」が 76.2%で最も比率が高く、次いで「製造業者や販売業者によるごみ減量・リサイクルを先に進めるべき」が 30.3%、「市民によるごみ減量・リサイクルの自主的な取り組みを優先すべき」が 29.1%、「ごみ処理の費用を直接負担したくないから」が 27.3%、「有料化によるごみの減量効果は一時的なものだと思うから」が 25.6%となっています。



1. 経済的負担の増加（19 件）

- 物価高、給料が上がらないのに生活が苦しくなる
- 低所得者・年金生活者・子育て世代への影響
- 具体的な負担額が不明で不安
- ごみ処理費用はすでに税金で賄われているのに二重負担

2. 不法投棄・ごみ処理の問題（12 件）

- 不法投棄や野焼きの増加

- コンビニや他人の敷地へ捨てる人が増える
- ごみ屋敷化の懸念
- 高齢者などがごみをため込む可能性

3. 行政の対応・税金の使い道（10件）

- すでに税金でごみ処理をしている
- 職員の減員など他のコスト削減が先
- 市の税金の使い方を見直すべき
- 収益の使い道が不明

4. 代替案の提案（8件）

- 店舗回収やリサイクルを促進すべき
- ごみ削減の仕組みを導入すべき（欧米の事例）
- マイボトル普及や包装の簡素化
- ポイント制度導入の提案

5. ごみ収集・管理の問題（7件）

- 掃除当番の負担増
- ごみの監視やプライバシー侵害の懸念
- 指定ごみ袋の値段を下げるべき
- 市の分別ルールの改善が先決

6. 有料化の方法・公平性（6件）

- 料金徴収の公平性が不透明
- 排出量に応じた料金設定が必要
- ルールを守らない人には効果がない

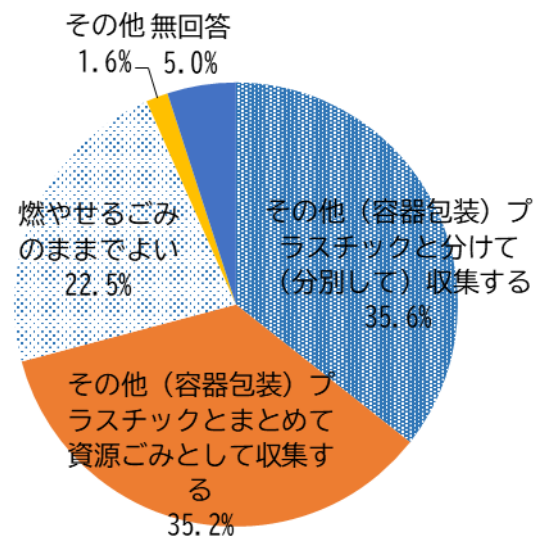
7. その他（6件）

- 設問の選択肢設定に問題がある
- 環境汚染への懸念
- 市の図書館予算を削ってごみ処理に充てるべき
- 他の地区の政策を参考にするべき

Q21. 現在は燃やせるごみとして収集しているプラスチック製品（プラスチックハンガーやプラスチック製のおもちゃなど）を資源ごみとして回収することになったら、どのような収集方法がよいと思いますか。〔1つ選ぶ〕

「その他（容器包装）プラスチックと分けて（分別して）収集する」が 35.6%で最も比率が高く、次いで「その他（容器包装）プラスチックとまとめて資源ごみとして収集する」が 35.2%、「燃やせるごみのままでよい」が 22.5%となっています。

項 目	回答数	%
1 その他（容器包装）プラスチックと分けて（分別して）収集する	326	35.6%
2 その他（容器包装）プラスチックとまとめて資源ごみとして収集する	322	35.2%
3 燃やせるごみのままでよい	206	22.5%
4 その他	15	1.6%
5 無回答	46	5.0%
小 計	915	100.0%



1. 回収後の処理を周知（6件）

- プラ製品を燃やすとどういう影響があるのか知りたい。
- 回収後の処分方法による。
- まとめて出せるなら楽だが、一緒にすると何か問題があるのかわからない。

2. 分別収集の分かりやすさが必要（5件）

- 誰にでもわかりやすく写真などで細かく表示する。

3. 分別ルールの不明確さ（3件）

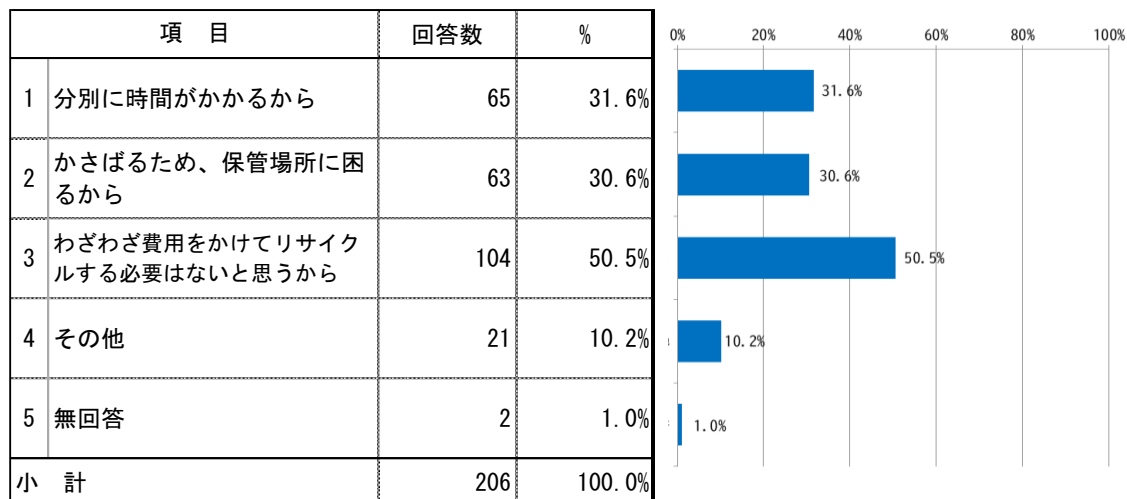
- 何を分けるべきか分からない

4. ごみの種類を増やすなど（1件）

- ごみの種類を増やす。

Q21. で「3. 燃やせるごみのままでよい」と答えた理由を教えてください。[いくつかでも]

「わざわざ費用をかけてリサイクルする必要はないと思うから」が 50.5%で最も比率が高く、次いで「分別に時間がかかるから」が 31.6%「かさばるため、保管場所に困るから」が 30.6%となっています。



1. 分別が難しく、面倒（7件）

- 資源かそうでないか判別するのが難しいと思う。
- おもちゃなどは特に部品ごとの分類が困難。
- 分別をする人とならない人の差があり、どうにもならないと思う。
- 汚れが付いており、資源ごみにならないと思う。

2. 変更による混乱・負担（6件）

- 今更、回収方法が変わるとややこしいから。
- 硬質プラは可燃ごみと思っていたのに今度変わったらその事に頭がついていない。
- どちらの方が負担がないのかわからない。
- 変えると混乱し、市民全員に周知するのに時間がかかる。

3. リサイクルの実態に疑問（4件）

- プラスチックリサイクルは8割がサーマルリサイクルにされていると聞く。
- 分別しても本当にリサイクルされているのかわからない。
- ごみを焼く時にプラスチックが火力を上げるから。
- 清掃センターに持ち込んだ際、そのまま燃えるごみでいいと言われた。冊子には別々にとあるがどうにもならない物もある。

4. 企業側の対応も必要（3件）

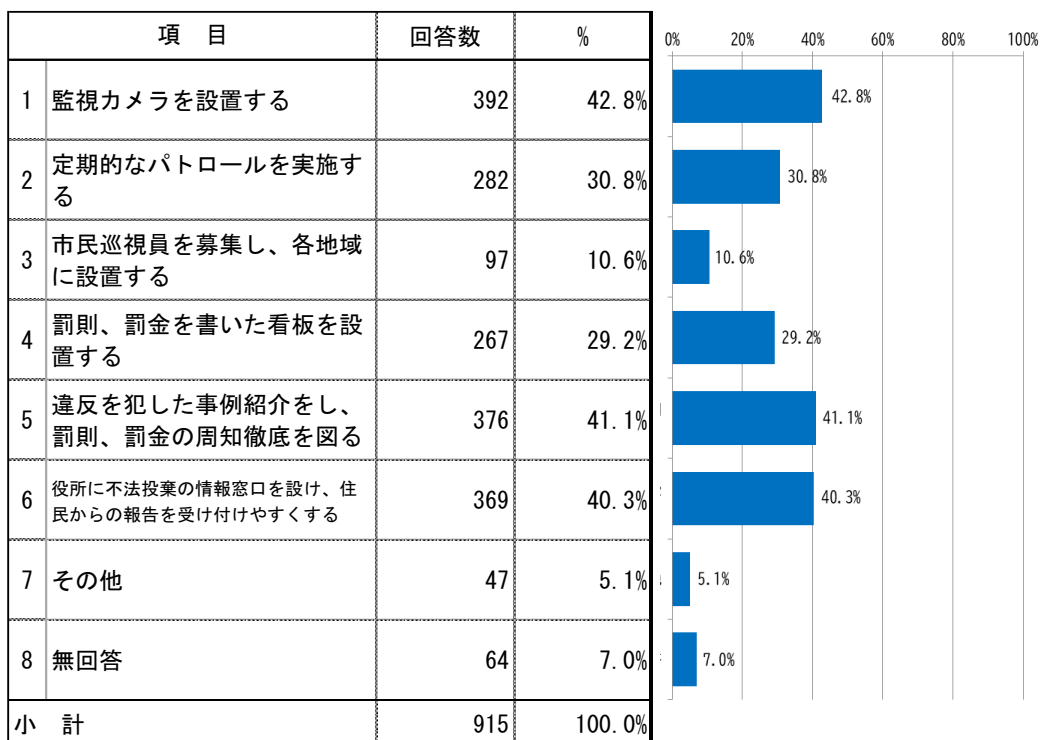
- スーパーや販売店でも協力する。
- 購入先で引き取るなど企業側も努力が必要と思う。

5. そもそも燃やすしかない（1件）

- プラスチックのおもちゃだとプラ以外の部分もあり結局燃やすことになると思う。

Q22. 花巻市でも不法投棄が後を絶たない状況ですが、不法投棄を未然に防ぐためにはどのような方法が有効だと思いますか。〔3つ選ぶ〕

「監視カメラを設置する」が42.8%で最も比率が高く、次いで「違反を犯した事例紹介をし、罰則、罰金の周知徹底を図る」が41.1%、「役所に不法投棄の情報窓口を設け、住民からの報告を受け付けやすくする」が40.3%、「定期的なパトロールを実施する」が30.8%となっています。



1. 監視・取り締まりの強化（13件）

- 監視カメラの設置と周知（「監視カメラ設置中」などの看板を設置）
- 深夜・早朝の重点パトロール
- ドローンを活用した監視
- 通報制度の強化（情報提供者への報奨金制度）
- 摘発した事例の公表（写真付きで罰則の周知）

2. 廃棄しやすい仕組み作り（11件）

- 大型ごみの持ち込み料金を下げる
- いつでも引き取れる場所の周知
- ごみ回収所の拡充

- 行政が設置した集積所でポイント制度導入
- マイナンバーカードと連携したインセンティブ（住民票発行手数料割引など）
- 購入時に所有者を特定できるシステム導入（IC チップやシール）
- 廃棄物処理税の導入（簡易包装は税率低く、大型ごみ廃棄は無料に）

3. 環境美化・意識向上（8件）

- 草刈りや清掃の徹底（「捨てやすい環境をなくす」）
- クリーン作戦や美化活動の強化
- 市民の意識向上を図る教育活動
- きれいな状態を保つことで捨てにくくする

4. 罰則の強化と周知（7件）

- 罰則を厳格化し、実際に罰する（「罰しないから増える」という意見）
- 不法投棄後の顛末を市民に周知
- 事業者への指導と摘発の徹底
- 不法投棄者の情報公開

5. その他の視点（9件）

- 「不法投棄者に直接聞いてみるべき」という意見
- 「どんな対策をしても捨てる人は後を絶たない」という見方
- 「人間性の問題」「育ちの悪さが原因」という意見

Q23. ごみの減量・リサイクルを推進するうえで、行政へのご意見やご要望がありましたら、ご自由に記入してください。

1. ごみの分別・回収方法に関する要望(87 件)

- ごみの分別に関する意見・改善点（分別が難しい、手間がかかる等）
- 回収方法の改善（回収日、収集場所、回収頻度など）
- 不法投棄や無記名のごみ回収について

2. リサイクル・資源ごみの取り組み強化(93 件)

- 資源ごみの回収頻度や取り扱いの改善（アルミ缶、ガラス瓶等）
- 回収後の流れの公開や情報提供（資源ごみがどう処理されているか）
- 常時持ち込み可能な場所の設置

3. ごみ処理のインセンティブ・教育活動(52 件)

- ポイントやインセンティブを提供する施策（スーパーでのポイント還元等）
- ごみ分別に関する啓蒙活動（市民教育、講習会等）

4. ごみの減量・再利用に関する提案(78 件)

- 減量を促進するための施策（過剰包装の削減、商品販売方法の変更）
- 不要品の回収や修理による再利用（家電製品や家具、衣類など）

5. 施設・設備の改善(46 件)

- ごみ集積所や回収所の改善（設置場所、利便性）
- ごみ処理施設の見学や情報公開

6. 税金・料金に関する意見(24 件)

- ごみの有料化についての反対意見
- ごみ袋の価格や料金に関する意見

7. 環境負荷軽減の取り組み(32 件)

- 環境に優しい製品の推進（プラスチック製品の代替品や素材選び）
- 市民の意識向上に向けた環境教育

8. その他(4 件)

- 特定の回収アイテム（牛乳パック、衣類等）の取り扱いへの要望
- 生活環境や高齢者支援の要望

市民アンケートまとめ

1) 市民のごみ減量への意識と行動

回答者の多くは、ごみの減量やリサイクルなどのごみ問題への関心を示しています。

現状において、回答者の多くがごみの減量やリサイクルへの努力を行っており、日常生活の中で、古紙・古布等の資源回収、マイバックやマイかごを持参、簡易包装商品の選択、物を修理して使うなどの取り組みを実践しています。また、生ごみの水切り、食品ロスへの対策も過半数が取り組んでおり、SDG s の目標 12「つくる責任つかう責任」のターゲット 3「2030 年までに小売り・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの精算・サプライチェーンにおける食料の損失を減少させる。」に貢献しています。

2) ごみ出しの現状

ごみ出しの現状をみると、回答者の約 98%は適正なごみ出しを実施していることが示されました。

その一方で、品目別の分別方法をみるとまだ改善の余地はあるため、これまで以上の広報・啓発活動の強化が必要です。

(1) 古紙

新聞、チラシ、雑誌、段ボール、牛乳パックは、資源として排出することが普及しており、今後もこの傾向を維持できるよう努めます。特に、古紙類については前回調査から比較すると、スーパー等の店頭回収を利用している割合が大幅に増加しています。

一方で、菓子箱、ティッシュの箱、包装紙は、資源回収が進んでおらず、回答者の約半数は燃やせるごみとして排出しています。また、コピー用紙も資源回収が進んでおらず、回答者の約半数は燃やせるごみとして排出しています。

このため、新聞、チラシ、雑誌、段ボール、牛乳パック以外の古紙については、資源回収の推進に向けた広報・啓発活動の強化等が必要です。

(2) びん

ビールびんや一升びんなどのびん類は、資源として排出することが普及しており、今後もこの傾向を維持できるよう努めます。一方で、燃やせないごみとして排出されている割合も一定数いることから、資源の区分について広報・啓発活動の強化が必要です。

(3) 缶

飲料用や缶詰、菓子の缶は、燃やせないごみと排出されており、排出方法が遵守されているとともに、前回調査と比較して店頭回収の利用が高まっています。今後もこの傾向を維持できるよう努めます。

(4) ペットボトル

ペットボトルは、資源として排出することが普及しており、特に店頭回収の利用が高まっています。今後もこの傾向を維持できるよう努めます。

(5) その他プラスチック

トレイについてはスーパーなどの店頭回収を含め、資源として排出することが普及しています。

カップ・パック、ボトル類、キャップ類、袋類は、分別しやすい、洗うことで汚れを落としやすいことから、資源ごみとして排出することが普及しています。その一方で、燃やせるごみとして排出する比率も高いため、資源として排出することの広報・啓発活動の強化が必要です。

発泡スチロールなどの緩衝材についても、資源ごみとして排出する割合が高くなっている一方で、燃やせるごみとして排出されることも多いため、資源として排出することの広報・啓発活動の強化が必要です。

また、市ではその他プラスチックと燃やせないごみの収集日が同じであるため、混同しないよう分別の徹底について注意を呼びかけることも必要です。

(6) 乾電池、蛍光灯

回答者の多くは、指定されたごみ出し方法を遵守していることが伺われたため、これらの品目のごみ出しの広報・PR 方法、回収体制等を他の品目に応用することが望まれます。

(7) その他

廃食用油については資源ごみとして収集していますが、回答者の約 29%は「燃やせるごみ」として排出しており、前回調査と比較しても資源ごみとして排出することが普及していないことが伺えます。また、小型電子機器についても、「燃やせないごみ」に排出する割合が高くなっていることから、資源の区分について広報・啓発活動の強化が必要です。

3) 市の施策

市のごみ収集・処理については、回答者のほとんどが満足していることが伺われます。現状で不満な点としては、

- ・回収対象拡充の要望
- ・収集回数に関する不満

などがあげられており、今後の改善・対応について検討が必要です。

今後、市が減量化やリサイクルを進めるために必要な取り組みとしては、

- ・ごみの分別の徹底指導
- ・回収後のリサイクルに関する情報（具体的なりサイクル方法等）
- ・過剰包装の削減やポイントの還元等、事業者と協働したごみの減量及び発生回避

などであり、ごみの減量化やリサイクルに向けた効果があるもの、ごみを発生させる前に発生回避できる施策の推進を求めていることが伺えます。また、AI 等の技術・デジタルの活用やリサイクルに関する情報を求める意見もあります。

また、家庭ごみの有料化については、料金を徴収することにより不法投棄等違法な処理・処分が増加するのではないかと懸念する意見が多くなっています。

今回の市民アンケートの結果により、ごみの減量化・資源化に向けて、市民の減量・分別への意識は向上していますが、まだ改善の余地はあるため、今後も一層各種の施策や取り組みを推進していくことが必要と考えられます。